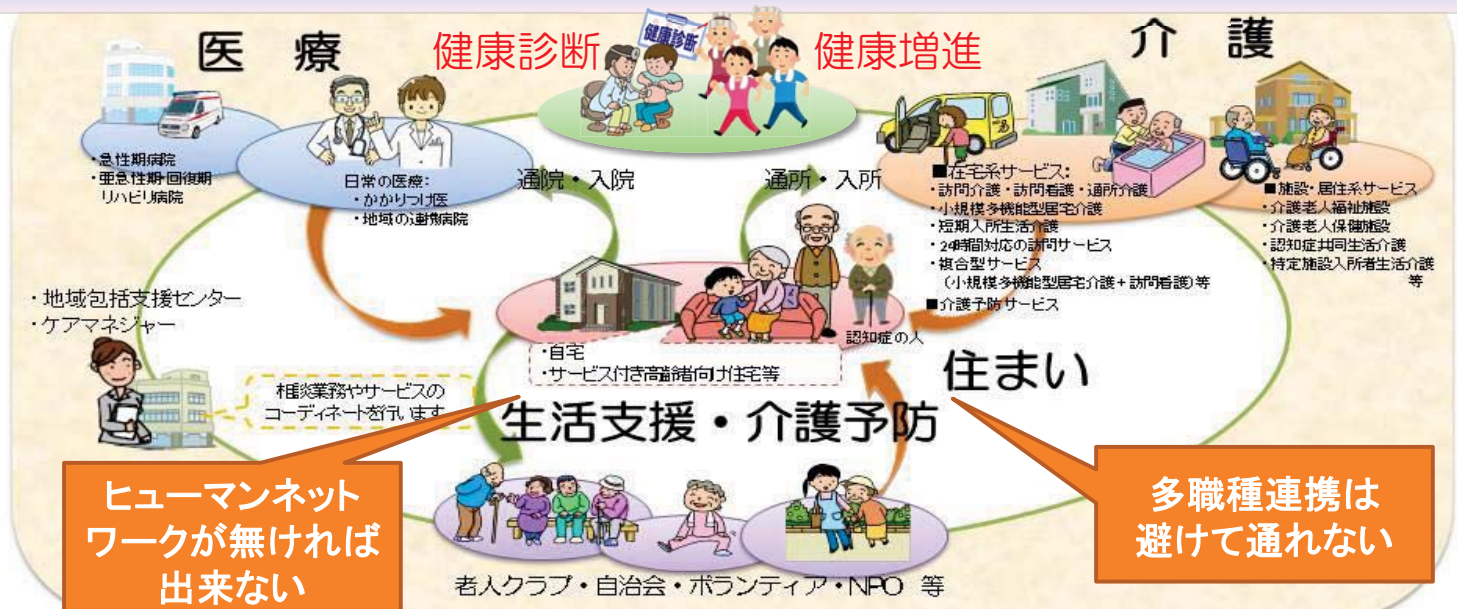


地域での関係性向上に向けた取り組み



一般社団法人 別府市医師会
ICT・地域医療連携室 室長
田能村 祐一

2025年の地域包括ケアシステムを踏まえた多職種への活用



医師会立の検査・健診センターはどうする！



積極的に連携する！

平成30年度診療報酬改定の概要

I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

医科（「医科Ⅰ」参照）

1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

歯科（「歯科」参照）

1. かかりつけ歯科医の機能の評価
2. 周術期等の口腔機能管理の推進
3. 質の高い在宅医療の確保

調剤

1. かかりつけ薬剤師の推進
2. 地域医療に貢献する薬局の評価

II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

医科（「医科Ⅰ」「医科Ⅱ」参照）

1. 重点的な対応が求められる医療分野の充実
 - 1) 小児医療、周産期医療、救急医療の充実
 - 2) 緩和ケアを含む質の高いがん医療等の評価
 - 3) 認知症の者に対する適切な医療の評価
 - 4) 地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価
 - 5) 感染症対策や薬剤耐性対策、医療安全対策の推進
 - 6) 適切な腎代替療法の推進
2. 先進的な医療技術の適切な評価と着実な導入
 - 1) 遠隔診療の評価
 - 2～8) (略)

歯科（「歯科」参照）

1. 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

調剤

1. 薬局における対人業務の評価の充実
2. 効率的で質の高い在宅薬剤管理指導業務の推進

III 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

1. チーム医療等の推進(業務の共同化、移管等)等の勤務環境の改善（「医科Ⅰ」参照）
2. 業務の効率化・合理化（「医科Ⅰ」参照）

IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化

1. 薬価制度の抜本改革の推進（「薬価制度」参照）
2. 後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進（「医科Ⅰ」参照）
3. 費用対効果の評価（「医科Ⅱ」参照）
4. 調剤報酬(いわゆる門前薬局等の評価)の見直し
5. 医薬品、医療機器、検査等の適正な評価（「医科Ⅰ」「医科Ⅱ」参照）

「患者のための薬局ビジョン」 ～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

平成27年10月23日公表

健康サポート薬局

健康サポート機能

- ☆ 国民の**病気の予防や健康サポートに貢献**
 - ・ 要指導医薬品等を適切に選択できるような供給機能や助言の体制
 - ・ 健康相談受付、受診勧奨・関係機関紹介等

高度薬学管理機能

- ☆ **高度な薬学的管理ニーズ**への対応
 - ・ 専門機関と連携し抗がん剤の副作用対応や抗HIV薬の選択などを支援等

かかりつけ薬剤師・薬局

服薬情報の一元的・継続的把握とそれに基づく薬学的管理・指導

- ☆ **副作用や効果**の継続的な確認
- ☆ **多剤・重複投薬や相互作用の防止**
 - ICT（電子版お薬手帳等）を活用し、
 - ・ 患者がかかる**全ての医療機関の処方情報を把握**
 - ・ 一般用医薬品等を含めた服薬情報を一元的・継続的に把握し、薬学的管理・指導

24時間対応・在宅対応

- ☆ **夜間・休日、在宅医療**への対応
 - ・ **24時間**の対応
 - ・ **在宅患者**への薬学的管理・服薬指導
 - ※ 地域の薬局・地区薬剤師会との連携のほか、へき地等では、相談受付等に当たり地域包括支援センター等との連携も可能

医療機関等との連携

- ☆ 疑義照会・処方提案
- ☆ 副作用・服薬状況のフィードバック
- ☆ 医療情報連携ネットワークでの情報共有
- ☆ 医薬品等に関する相談や健康相談への対応
- ☆ 医療機関への受診勧奨

平成30年度診療報酬改定の概要

I 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

医科（「医科Ⅰ」参照）

1. 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価
2. 外来医療の機能分化、かかりつけ医の機能の評価
3. 入退院支援の推進
4. 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
5. 医療と介護の連携の推進

歯科

1. かかりつけ歯科医の機能の評価
2. 周術期等の口腔機能管理の推進
3. 質の高い在宅医療の確保

調剤（「調剤」参照）

1. かかりつけ薬剤師の推進
2. 地域医療に貢献する薬局の評価

II 新しいニーズにも対応でき、安心・安全で納得できる質の高い医療の実現・充実

医科（「医科Ⅰ」「医科Ⅱ」参照）

1. 重点的な対応が求められる医療分野の充実
 - 1) 小児医療、周産期医療、救急医療の充実
 - 2) 緩和ケアを含む質の高いがん医療等の評価
 - 3) 認知症の者に対する適切な医療の評価
 - 4) 地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価
 - 5) 感染症対策や薬剤耐性対策、医療安全対策の推進
 - 6) 適切な腎代替療法の推進
2. 先進的な医療技術の適切な評価と着実な導入
 - 1) 遠隔診療の評価
 - 2～8) (略)

歯科

1. 口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進

調剤（「調剤」参照）

1. 薬局における対人業務の評価の充実
2. 効率的で質の高い在宅薬剤管理指導業務の推進

III 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

1. チーム医療等の推進(業務の共同化、移管等)等の勤務環境の改善（「医科Ⅰ」参照）
2. 業務の効率化・合理化（「医科Ⅰ」参照）

IV 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の強化

1. 薬価制度の抜本改革の推進（「薬価制度」参照）
2. 後発医薬品の使用促進、医薬品の適正使用の推進（「医科Ⅰ」「調剤」参照）
3. 費用対効果の評価（「医科Ⅱ」参照）
4. 調剤報酬(いわゆる門前薬局等の評価)の見直し（「調剤」参照）
5. 医薬品、医療機器、検査等の適正な評価（「医科Ⅱ」「医科Ⅲ」参照）

かかりつけ歯科医機能評価の充実

かかりつけ歯科医機能をより一層推進する観点から、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の見直しや、かかりつけ医との情報共有・連携の評価を行う。

- ・ かかりつけ歯科医とかかりつけ医の間の情報共有の評価



情報共有
・連携



歯科訪問診療
への移行



- ・ 外来から歯科訪問診療に移行した場合の評価

連携



- ・ 在宅療養支援歯科診療所との連携の評価



- ・ 学校歯科医等の実績を評価



- ・ 研修内容の見直し

連携



- ・ 在宅医療、介護に関する連携等を評価
- ・ 多職種連携の評価 等

取り組みの考察と今後の展望

健康寿命の延伸



地域住民一人ひとりのQOLの向上



市民への啓発

- 受診率向上
 - ・ 特定健診
 - ・ がん検診

保健指導の充実

- 生活習慣病の発症重症化予防事業
 - ・ 糖尿病
 - ・ 慢性腎臓病（CKD）

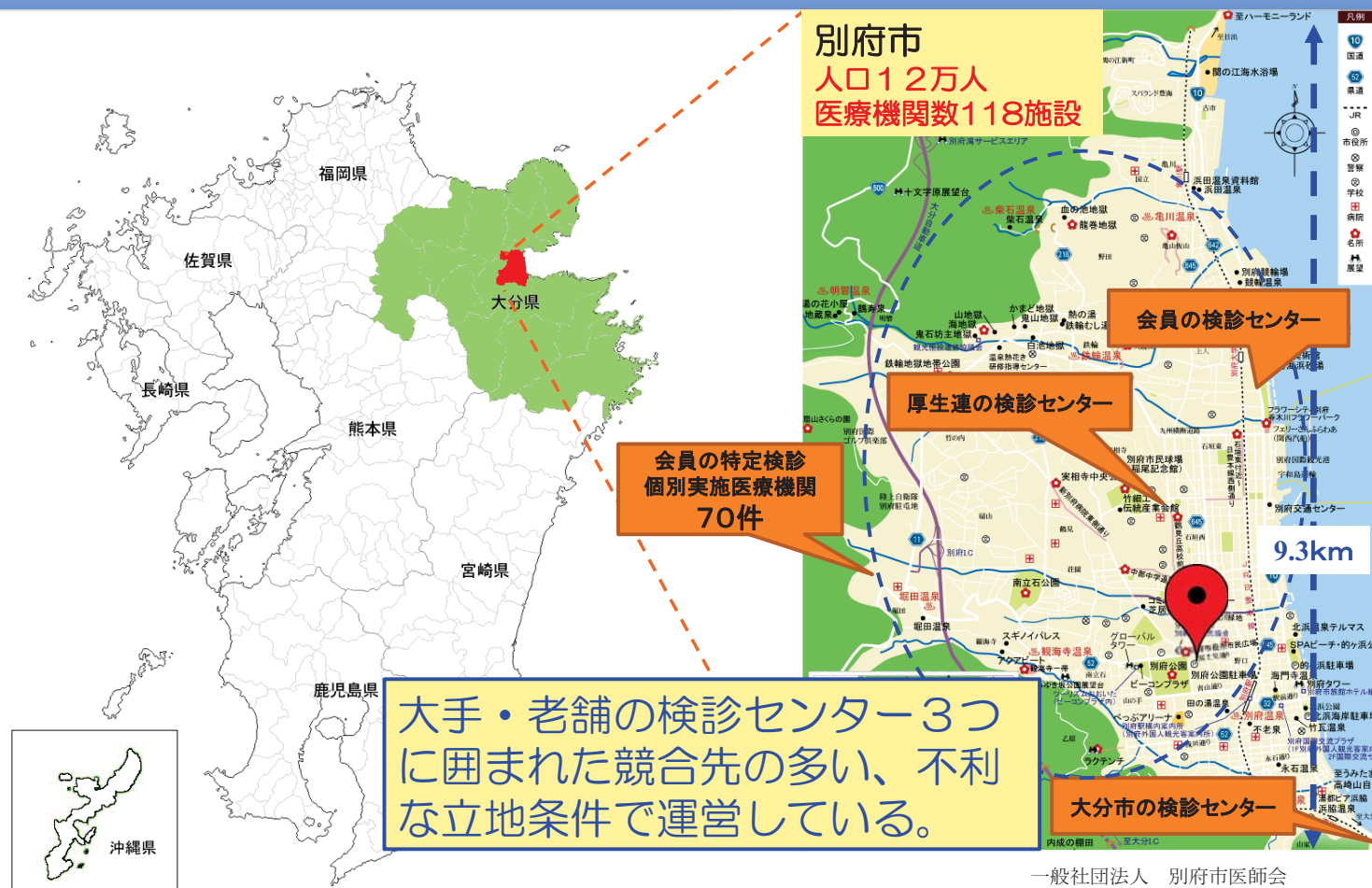
連携体制の構築

- 多職種との連携
 - ・ 歯科医師
 - ・ 薬剤師
 - ・ 栄養士

医師会立共同利用施設（検査・健診センター）

当センターが連携した例

別府市医師会地域保健センターの背景



別府市医師会 地域医療連携パス委員会 CKD班

発症予防と重症化予防対策の取組

- 1 市民への啓発
- 2 保健指導の充実
- 3 連携体制の構築



* 別府市医師会

* 国立病院機構 別府医療センター 腎臓専門医、腎臓内科医

* 大分県厚生連 鶴見病院 腎臓専門医

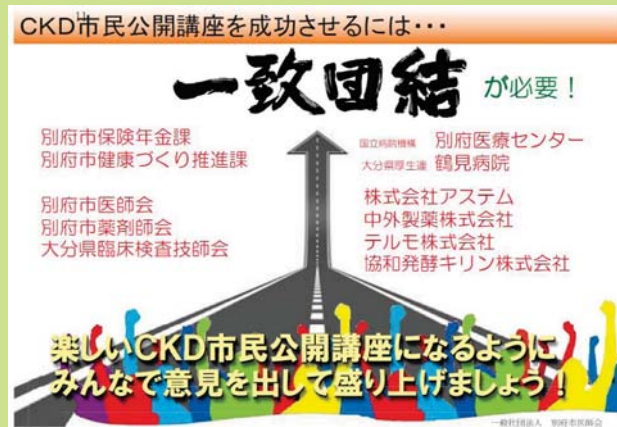
* 国家公務員共済組合連合会 新別府病院 糖尿病専門医

* 別府市薬剤師会 * 大分県東部保健所

* 別府市 * 中外製薬など各企業

毎月
約 **30名** 出席

CKD予防講座の前にチームの士気を高める！



取組1 市民への啓発 「別府市CKD予防講座」

[プログラム] 講演Ⅰ：腎臓専門医 講演Ⅱ：管理栄養士

参加市民への検査実施（大分県検査技師会）、うま塩屋台など



第1回（平成27年度）
参加人数：**192名**

第2回(平成28年度)
参加人数：**183名**

第3回(平成29年度)
参加人数：**384名**

取組2 保健指導の充実

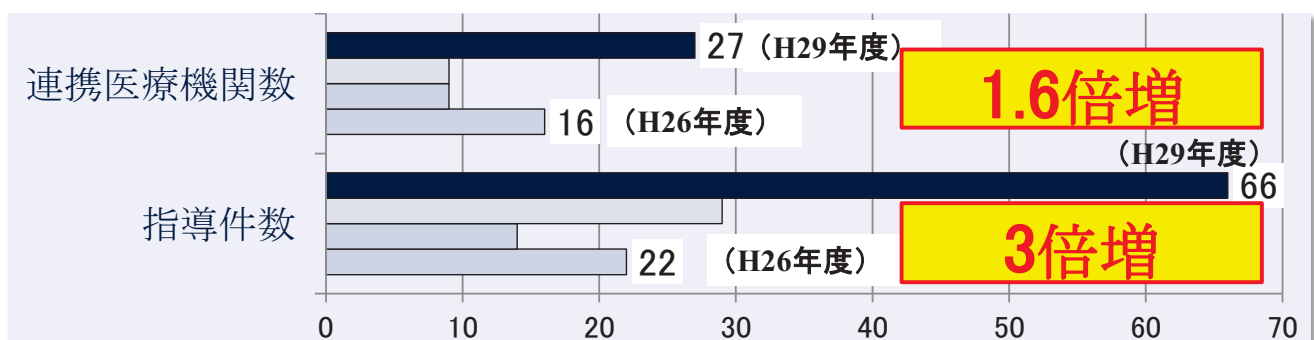
平成29年度

特定健診71 実施医療機関への訪問

特定健診受診者の腎機能低下速度(ΔeGFRを情報提供)

氏名	性別	生年月日	事業勸奨結果	備考
□□ □□	男	S△△年△月△日		Δ eGFR-0.50/月
□□ □□	男	S△△年△月△日		Δ eGFR-0.55/月
□□ □□	女	S△△年△月△日		Δ eGFR-0.73/月

■効果:連携医療機関数、保健指導件数の増加



がん検診受診率向上プロジェクト会議

【プロジェクト内容】

大分県の中で別府市の肺がん受診率がワースト1位のため、実態把握と現状課題を抽出し、向上に向けた方向性を検討する。

開催は8月1日・12月18日の2回開催

協議検討

【各団体】

東部保健所・別府市・日出町・杵築市・山香病院
 協会けんぽ大分支部
 厚生連健康管理センター
 大分総合健診センター（OHC）
 別府市医師会地域保健センター

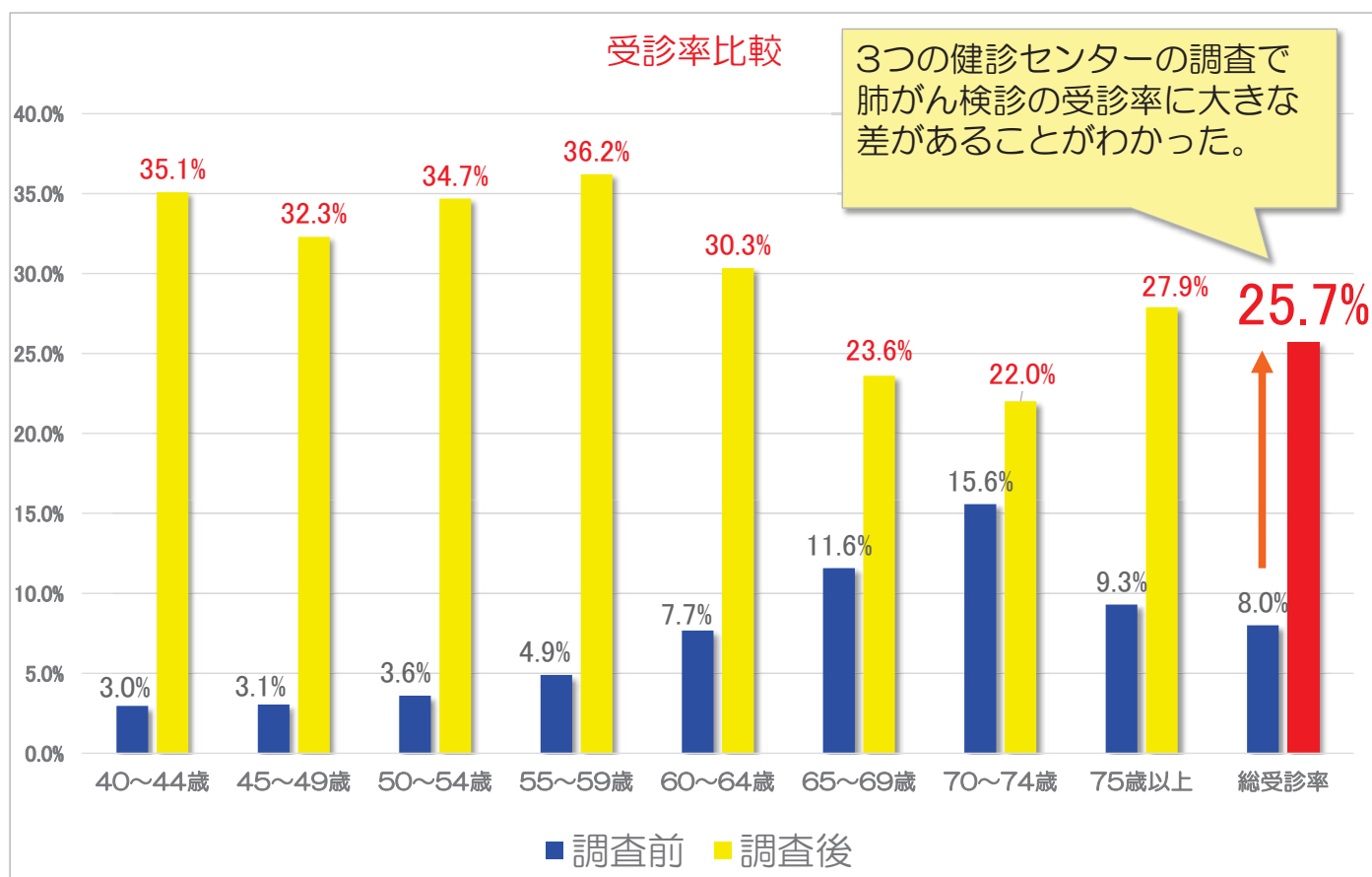
がん検診受診率向上プロジェクト会議

- 健診機関と連携した、肺がん検診の受診実態の把握。
別府市民で別府市の肺がん検診以外の健診で胸部X線検査を受診している人の年齢・性別・喫煙歴・結果の把握
- 医療機関従事者のがん検診に係る実態把握。
医療機関に就業している職員で胸部X線検査を受診した数の把握

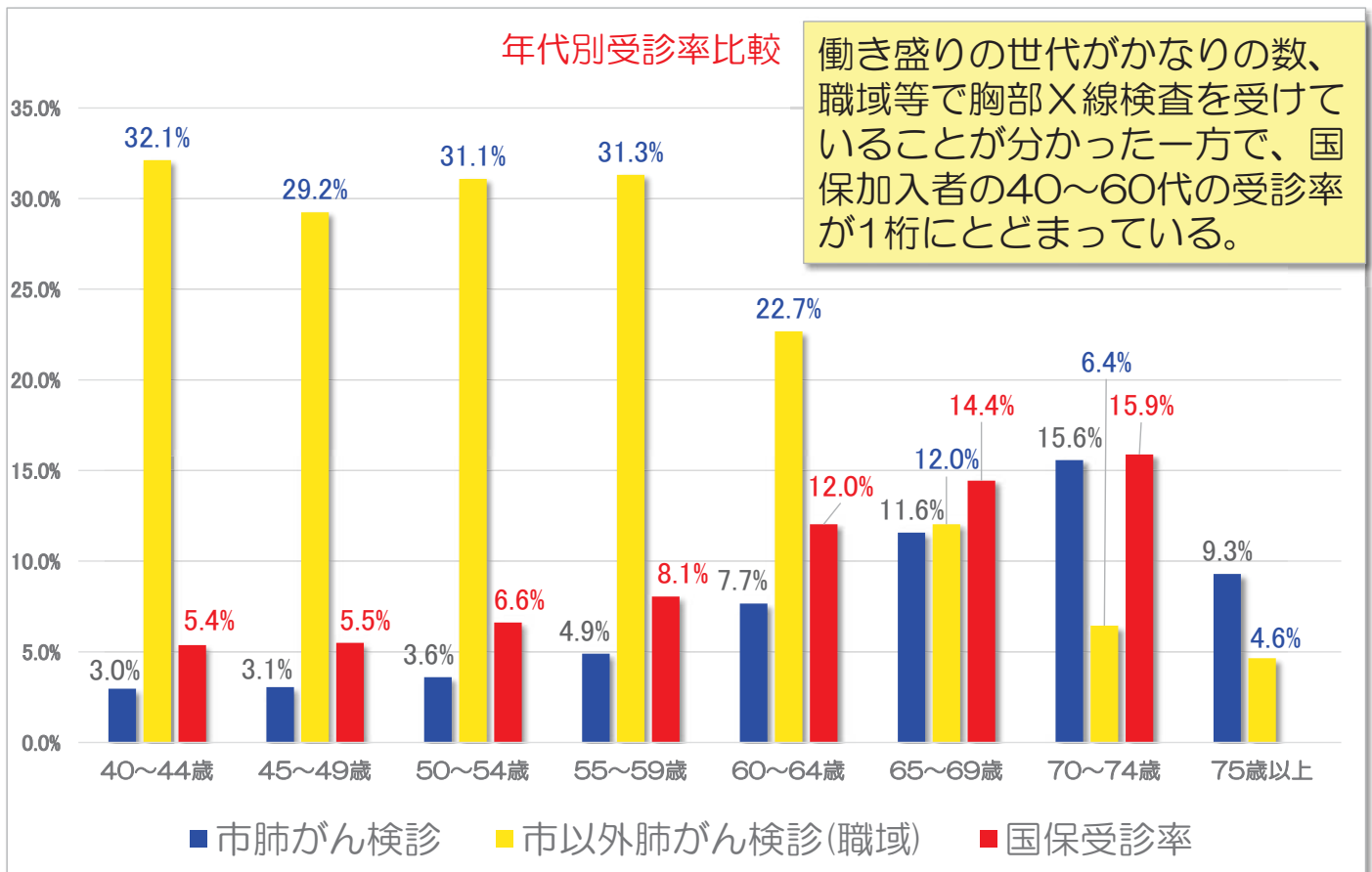


3つの健診センターの協力のもと別府市民で別府市の肺がん検診以外の健診で胸部X線検査を受診している人の年齢・性別・喫煙歴・結果を年代別に抽出

別府市の肺がん検診受診状況（H28）



別府市の肺がん検診受診状況（H28）



肺がん検診における受診率向上対策

・ 受診実態の把握における効果

かなりの数が職域等で検診をうけていると感じる。

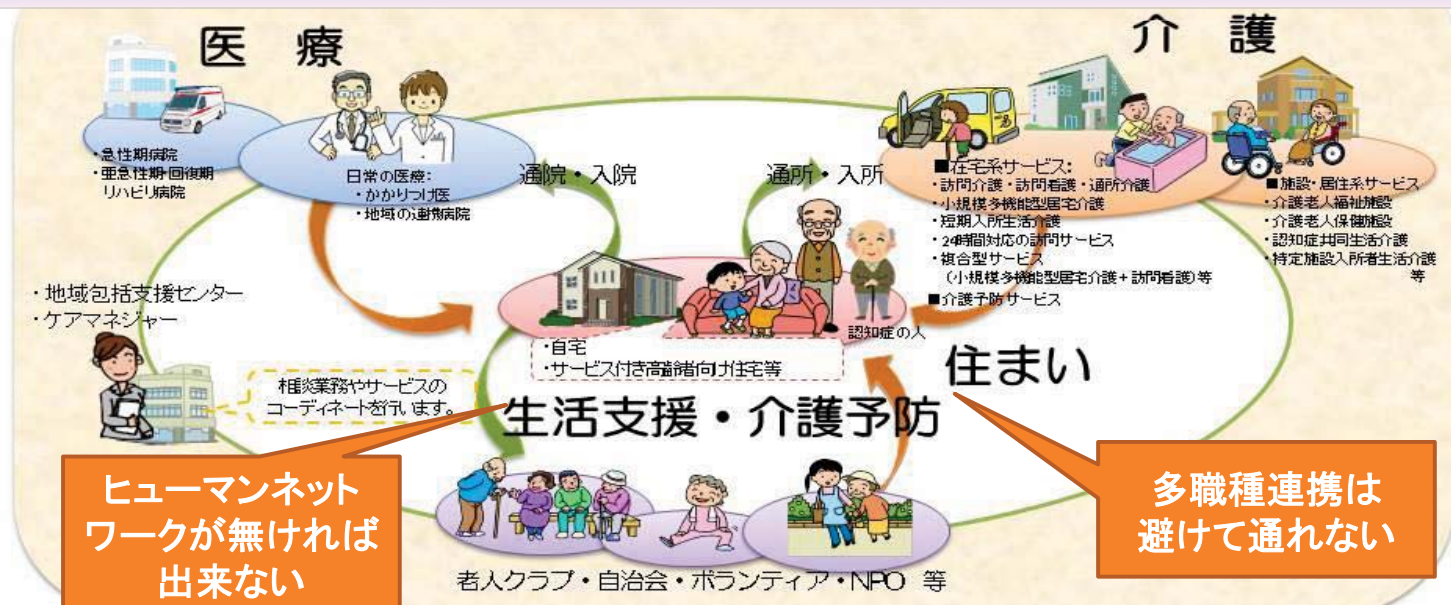
ただし、受診率は30%台なので、更なる対策が必要。

受診実態が見えたことで、対策のターゲットが見えてきた。



国保の加入者の40歳～64歳までの受診率が1桁台と低く、個人経営の飲食業や理・美容店などの受診率が悪いのではとターゲットが推測でき、各商業組合を対象とした出張肺がん検診の実施や各種イベントでの肺がん検診の実施を企画し、受診者数が昨年より増えた。

2025年の地域包括ケアシステムにどのように関わりますか？



7年後・・・

皆さんの地域で他の団体・職種等との関係性をどのように考えますか？